



一中だより

7月号
令和2年7月1日
小平市立小平第一中学校

■特別支援教室について

先月から一中でも「特別支援教室」での指導が開始されました。これまで上水中の通級指導学級で受けていた指導が、先生が一中に来てくれることで校内で受けられるようになるというものです。本校ではミーティングルームで勉強することになります。



特別支援教室ではどんな学習をしているのでしょうか。学校生活全体には問題はないのだけれど、特定の分野や場面に苦手があつてうまくいかない状況にある児童・生徒が、様々な調査はありますが、各クラスに2,3人はいるだろうと言われています。そういう生徒が、その「苦手」に直結した指導を受けるのが特別支援教室です。状況が改善されれば年度の途中の退級もありますし、先にも言ったように、それぞれの苦手克服に直結した指導を受けられるのは、とてもいいことだと思います。特別支援教室がどんなものか、生徒の皆さんにも保護者の皆さんにも、まだ十分わかってもらえていないと思いますので、本校に特別支援教室が開室されたこの機会に、ぜひ知ってもらえればと思います。

なお、小平市教育委員会は8月3日(月)15時から福祉会館で特別支援教室に係る説明会を開催します。詳細は改めてお知らせしますが、詳しくお知りになりたい保護者、地域の皆様は是非ご参加ください。

■放課後学習教室 再開します

しばらくお休みしていた放課後学習教室が先月29日再開しました。マスク、フェイスシールドの着用、手指の消毒など感染症対策をしっかり行ったうえで指導にあたってくださいます。期末試験の前の苦手の対策に、活用してほしいと思います。

■運動部の活動について

3日からは試験前一週間で活動休止ではありますが、先月22日の再開以降、生徒は待ちに待った活動に熱心に取り組んでいます。3年生は例年夏の大会を最後に引退する人が多いのですが、今年は軒並み中止になっています。現在、市内の各部活動の顧問の先生たちが連絡を取り合い、代わりの試合を開催できないか調整しています。もちろん、感染症対策をしっかりとったうえでの実施ですし、試合数なども多くは取れないかもしれませんが、一生懸命取り組んだ活動のまとめができるようにと考えていきます。運動部以外についても、もちろん同様に考えていきます。

■7月の主な予定

今年は授業時数確保のため1学期の終了が7月31日(金)になります。2学期の開始も例年より一週間早い8月24日(月)となります。また、例年2学期の始業式の日を実施していた緊急時引渡し訓練は今年度は全市的に中止となりました。様々な変更点がありますが、ご承知おきください。

日	曜	学校行事等	I組	給食			
				1	2	3	4
1	水	※職員会議		○	○	○	○
2	木	選挙管理委員会		○	○	○	○
3	金	生徒会役選公示 各種委員会 総務委員会		○	○	○	○
4	土						
5	日						
6	月	※生徒朝会(TV) 避難訓練		○	○	○	○
7	火			○	○	○	○
8	水	※保護者会(3)		○	○	○	○
9	木	尿検査(2次1回目)		○	○	○	○
10	金	期末考査 尿検査(2次2回目) 生徒会役員立候補締切		×	×	×	×
11	土						
12	日						
13	月	期末考査		×	×	×	×
14	火	期末考査		○	○	○	○
15	水	復習確認テスト(3) 選挙管理委員会		○	○	○	○
16	木	選挙管理委員会		○	○	○	○

17	金	選挙管理委員会		○	○	○	○
18	土	土曜授業日		×	×	×	×
19	日						
20	月			○	○	○	○
21	火	給食終		○	○	○	○
22	水	面談期間		×	×	×	×
23	木	海の日					
24	金	スポーツの日					
25	土						
26	日						
27	月	保護者会(1、I組)	保護者会	×	×	×	×
28	火	保護者会(2)		×	×	×	×
29	水	職員会議		×	×	×	×
30	木			×	×	×	×
31	金	終業式(TV) 安全指導 クリーンキャンペーン		×	×	×	×
8月の予定		1(土)夏季休業日始 11(火)12(水)学校閉庁日					
		24(月)始業式 28(金)給食始 耳鼻科検診(1、I)					
		31(月)身体計測(全)					

※放課後学習教室実施日

■朝日中高生新聞を活用した学習について

本校では読書活動の推進を通し、学力の向上や豊かな心の育成を進めていくことを学校経営の核としています。ここで身に付けさせたい学力は、「今度の期末テストの点数を上げたい」というような短期的なものでなく、一人一人の生徒にとって一生役に立つ力として活用できるような学力です。本校の生徒が、読書の推進と教科の授業が両輪とし、確かな学力と豊かな心を身に付けていく、そんな指導をしていきたいと考えています。

そのなかで、今回の休校、分散登校が、生徒の学力の向上に及ぼす影響を最小限のものにする努力をしていかないといけません。休校等で、できなかったこと、足りなかったことをそのように補うか。いろいろ考えていかなければいけません。今回その対策の一つとして、本校の図書室で購読している「朝日中高生新聞」を使った学習を試みようと考えました。

この中高生新聞に「天声人語で200字作文」という、連載があります。日刊の朝日新聞のコラム欄「天声人語」を読み、その内容にかかわる課題について200字の作文を書くという欄です。天声人語の文章とそれに沿った課題が示され、2週間後の号にその時の課題に沿った作文例が載るという仕組みです。この「天声人語で200字作文」の欄を切り抜き、2週間後の作文例と組み合わせ、ラミネートして1枚のシートにしたものを80枚ほど準備しました。（右に例を掲げます）これを希望する生徒に貸し出します。このシートに沿って、まず天声人語の文章を所定の用紙に視写し、課題の200字作文を書くという学習を考えてみました。200字作文については私（校長）が朱入れをして、返却します。視写し、課題作文を書くという地道な学習ですが、これをたとえば週に1回でも2回でも続け、トータルで20回、30回となったら、語彙量、作文力に目に見えた違いが出てきます。「次の期末テスト」には結びつかないかもしれませんが、長い目で見れば確実に力を伸ばせる学習の方法です。

生徒には実際のやり方を説明したプリントを配布します。ぜひこの機会に、コロナウィルスの影響でできなかった学習の補完として活用してほしいと思っています。